



軽快なヒップホップダンスを披露する藤巻さん

武南高等学校ダンス部員

ひと

ふじまき りわ 藤巻 里羽 さん

心を重ねたダンスでエールを

蔵 市出身の歌手星野源さんが4月に発表した楽曲「うちで踊ろう」。コロナ禍で外出自粛が叫ばれるなか、離れてもつながれるというメッセージが人々の心を打ち、蔵市内の武南高等学校ダンス部も、「少しでも皆さんの励みになれば」と、総勢65人が音源に合わせてリモートで踊る動画を5月末から公開しています。そのうち、市内唯一の部員が3年生の藤巻里羽さん（17歳・錦町6丁目）です。

ダンスを専門に学んだ母に憧れ、いつか自分もという思いが募った中学生時代。高校入学後、未経験ながら強豪部に飛び込みます。ところ



▲武南高校「うちで踊ろう」動画

が体の一部のみを動かすなどのヒップホップの動きに戸惑い、振りを覚えるのにも苦戦します。そんな藤巻さんに力を与えたのが仲間の存在です。自分達で選曲や振り付けを行うため、ときに意見を激しくぶつけて、より高い完成度を目指すなかで、熱が入った藤巻さん。部活の終了後も、振り付けを確認する自宅練習を数時間行い、市民公園桜まつりなどのイベントや大会で場数を重ねた結果、動きの美しさと忠実さは部内屈指となりました。そして、地区予選を通過した55チームが集った昨年の全日本高校チームダンス選手権では衣装係も務め、堅実な踊りと衣装作りでチームに貢献。入賞は逃したものの最優秀コスチューム賞を受賞し、努力は実を結びました。

集大成の5月の発表会では中止となり悔しさはありましたが、仲間と冒頭の動画を発表。「作品を残せて楽しかった」と振り返ります。卒業後は語学などで国際舞台を目指す藤巻さんには、「母とダンスを踊る」という、もう一つの夢も。古里蔵から未来へ羽ばたくため、着実なビートで一步一步ステップを踏んでいきます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.50—



暁斎筆「とくはかに五萬歳」錦絵

長寿を祝う古い言葉「徳若に御万歳」を絵に表した錦絵です。明治5年（1872）に設置された教導職の役を、カニが務めています。教導職は徳のある神官や僧侶が担ったので、「とくはかに」は「徳はカニ」であり「説くはカニ」。それを聞くのは、万年生きるるとされたカメが5匹で五萬（万）歳。言葉をもじりつつ、明治になって登場した役職を取り入れ、しかしカニやカメは写実的に描いているところがおもしろい作品です。



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい 河鍋 暁斎 天保2年（1831）～明治22年（1889）

河鍋暁斎記念美術館 開催中

「暁斎一門が描いた動物戯画」展 同時開催「第34回かえる」展

開館＝午前10時～午後4時
休館＝木曜日 毎月26日～末日、年末年始
ところ＝南町4-36-4
入館料＝一般600円 高校生・大学生500円
小・中学生300円 65歳以上500円
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください
詳細＝同館 ☎41・9780



展示会の詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください

